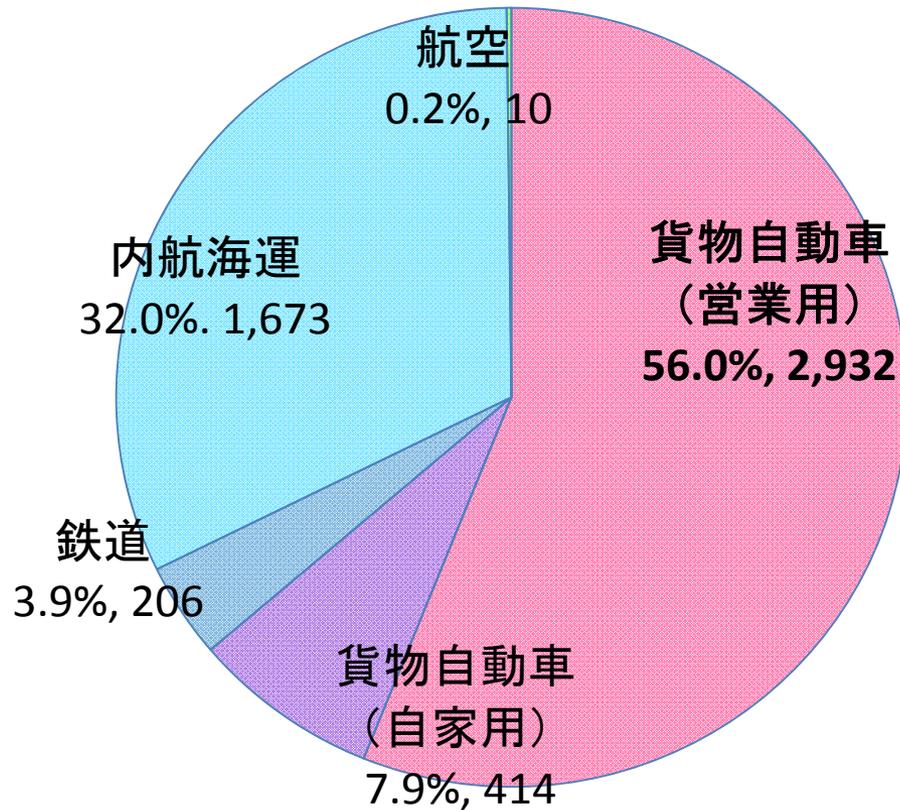


【 参 考 資 料 】

国内貨物輸送量

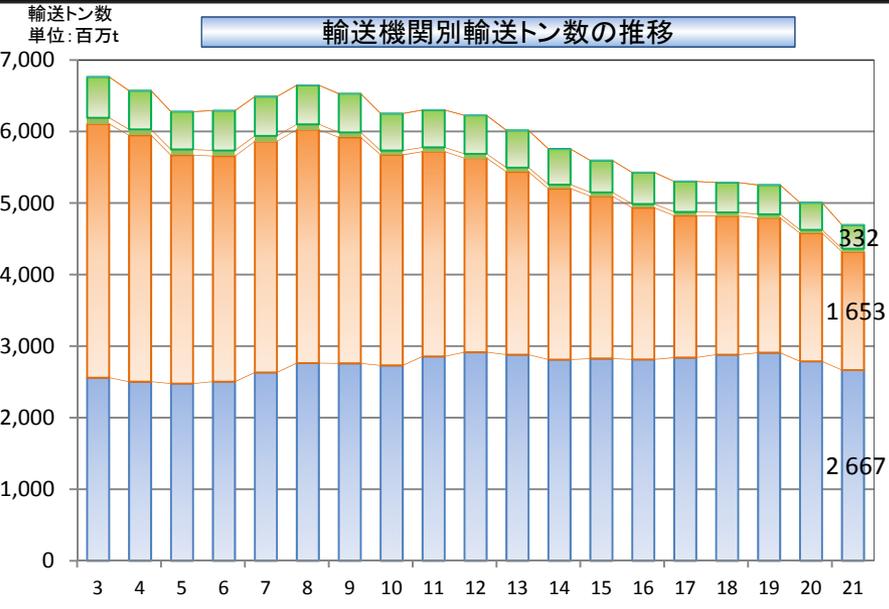
トラック輸送はわが国の国内物流の基幹的輸送機関として国内貨物輸送の約6割を占める(トンキロベース)。



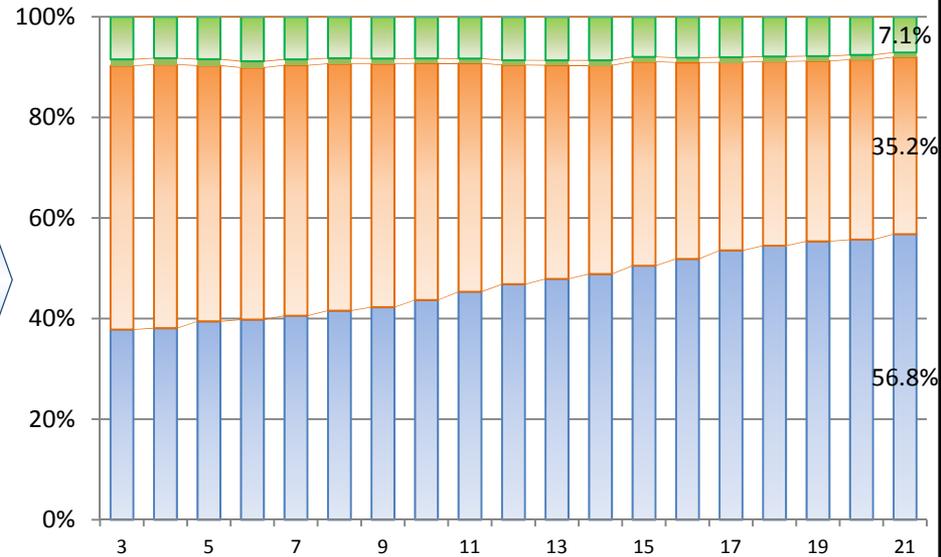
平成21年度実績
(単位:億トンキロ)

トラック輸送量の推移

輸送機関別輸送トン数の推移

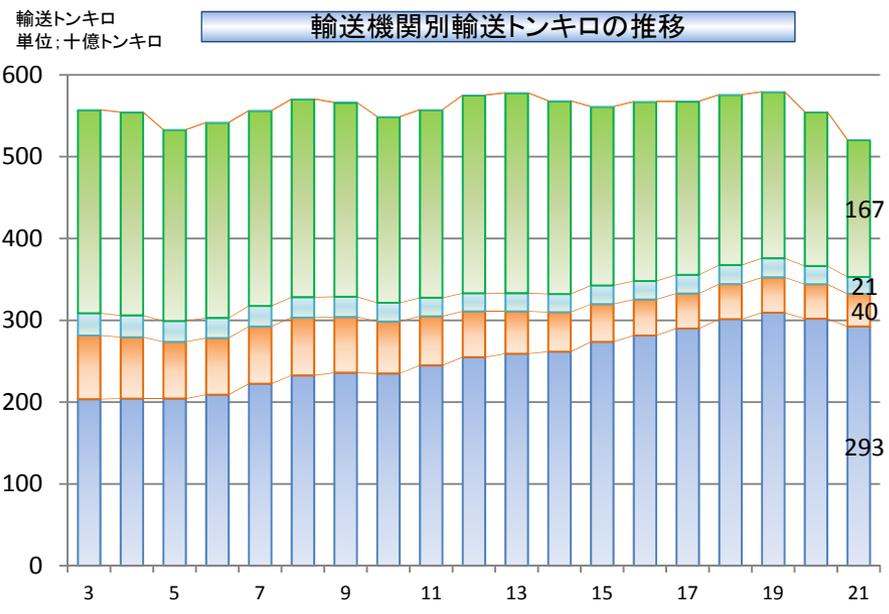


輸送機関別分担率(トン数ベース)

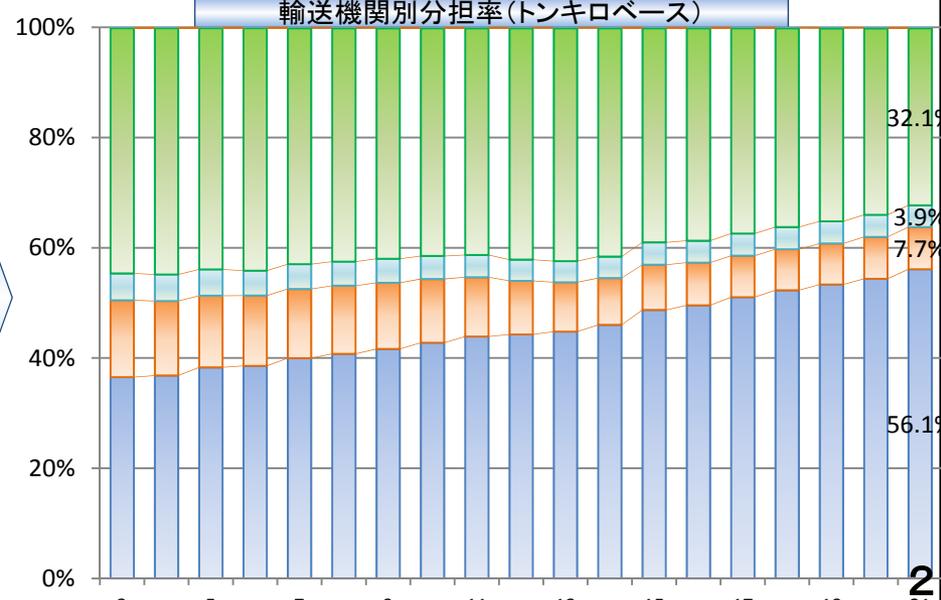


■ 営業用トラック
 ■ 自家用トラック
 ■ 鉄道輸送
 ■ 海上輸送
 ■ 航空輸送

輸送機関別輸送トンキロの推移

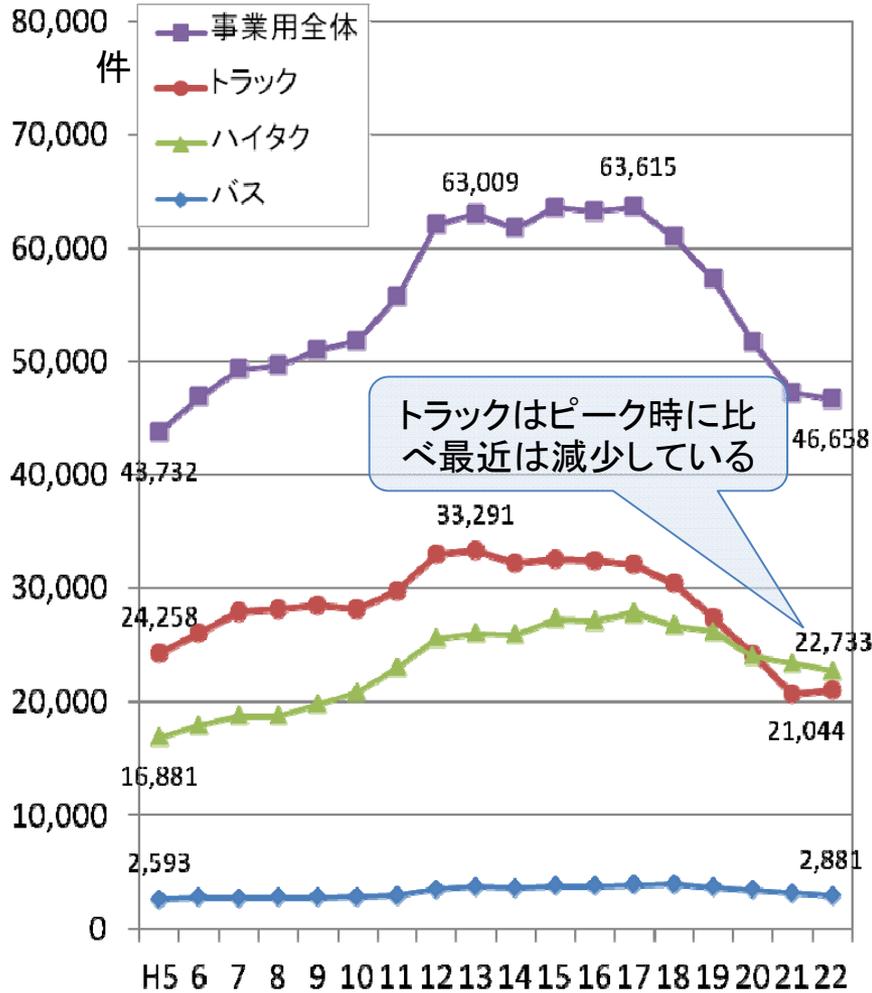


輸送機関別分担率(トンキロベース)



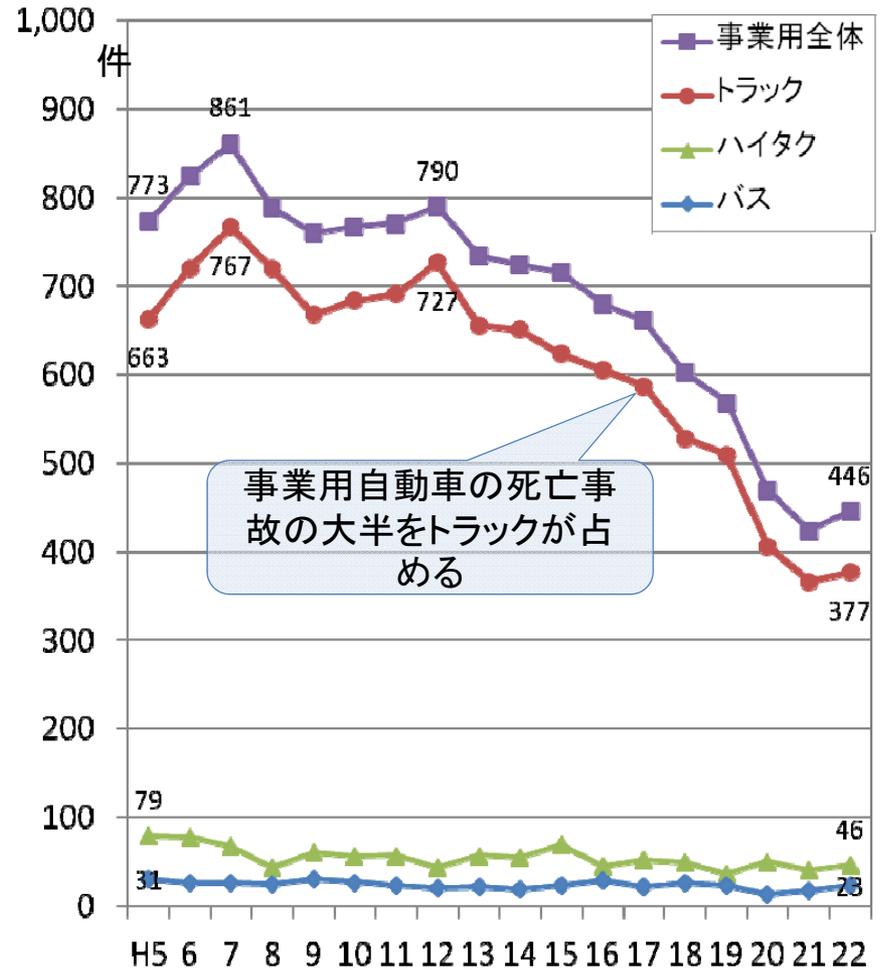
事業用自動車の業態別交通事故件数

事業用自動車の業態別交通事故件数の推移



出所)警察庁「交通事故統計」

事業用自動車の業態別死亡事故件数の推移



出所)警察庁「交通事故統計」

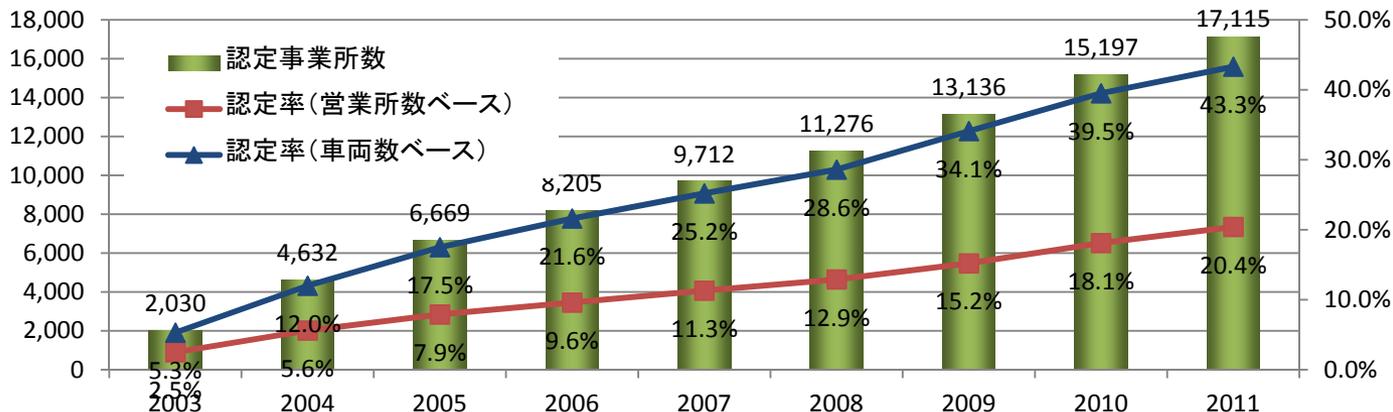
安全性評価事業(Gマーク制度)



トラック運送事業者からの申請に基づき、個々の営業所について①安全性に対する法令の遵守状況、②事故や違反の状況、③安全性に対する取り組みの積極性を確認し、それらが一定の水準以上であると判断された時は、安全性に優れた営業所として認定され、認定を受けた営業所は、Gマークの使用が認められる。

安全性優良事業所に対する優遇措置

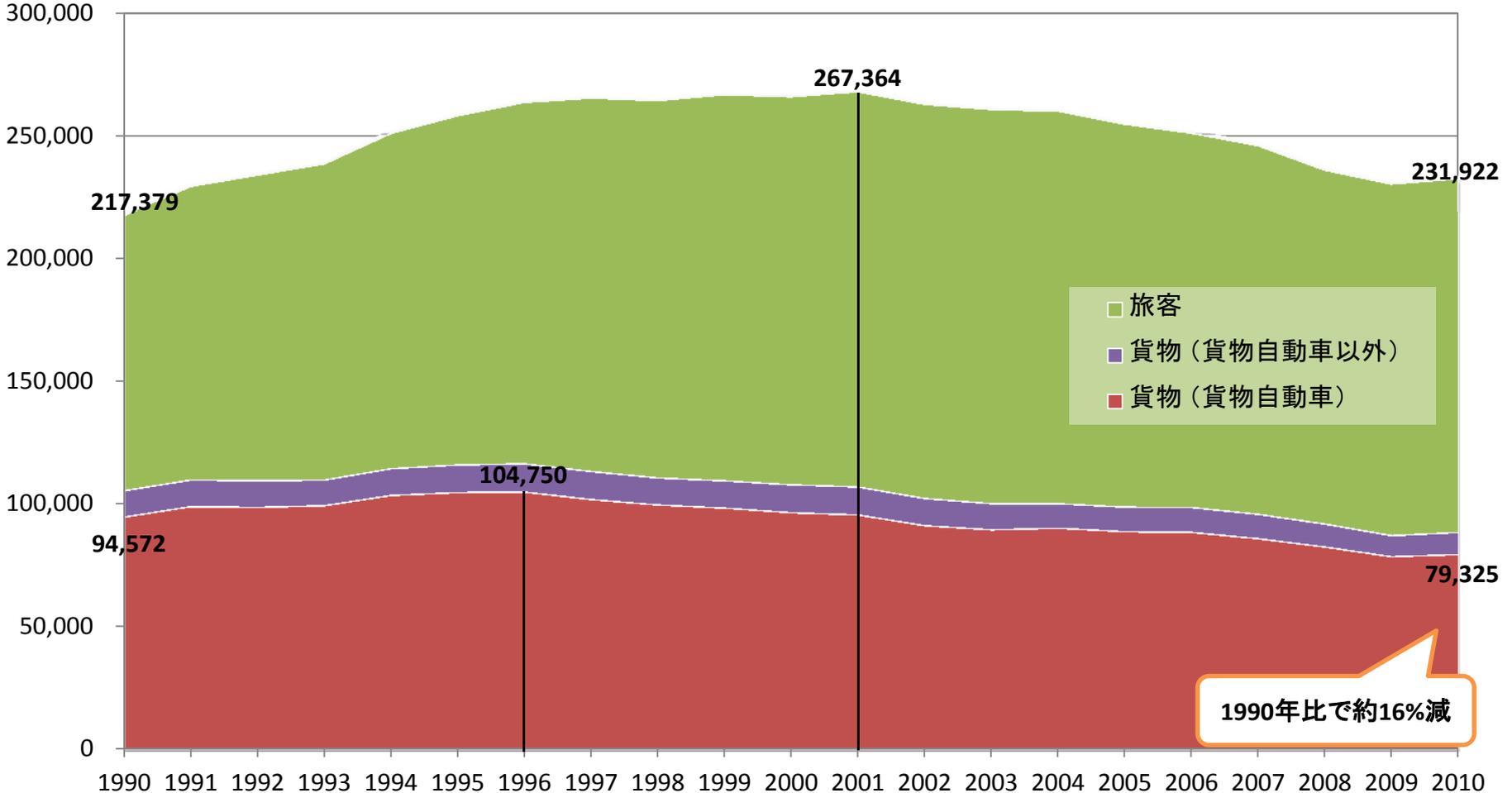
国土交通省	違反点数の消去	通常、違反点数は3年間で消去されますが、違反点数付与後2年間違反点数の付与の無い場合、当該違反点数を消去できる。
	IT点呼の導入	対面点呼に代えて、国土交通大臣が定める設置型又は携帯型のカメラを有する機器による営業所間又は営業所と車庫感での点呼が可能となる。
	点呼の優遇	2地点感を定時で運行する形態の場合の他営業所に置ける点呼、同一敷地内に所在するグループ企業間における点呼が了承される。
	補助条件の緩和	CNGトラック等に対する補助について、新車のみの導入については最低台数要件が3台から1台に緩和される。
損保会社	保険料の割引	損害保険会社の一部企業では、運送保険等において独自の保険料割引を適用しています。



運輸部門におけるCO2排出量

- 2001年度をピークに運輸部門からの排出量は減少傾向を示している。
- 貨物自動車は1996年度をピークにして減少、2010年には1990年比で約16%排出量を削減し、運輸部門の排出量削減に貢献。

二酸化炭素排出量
(千トン)



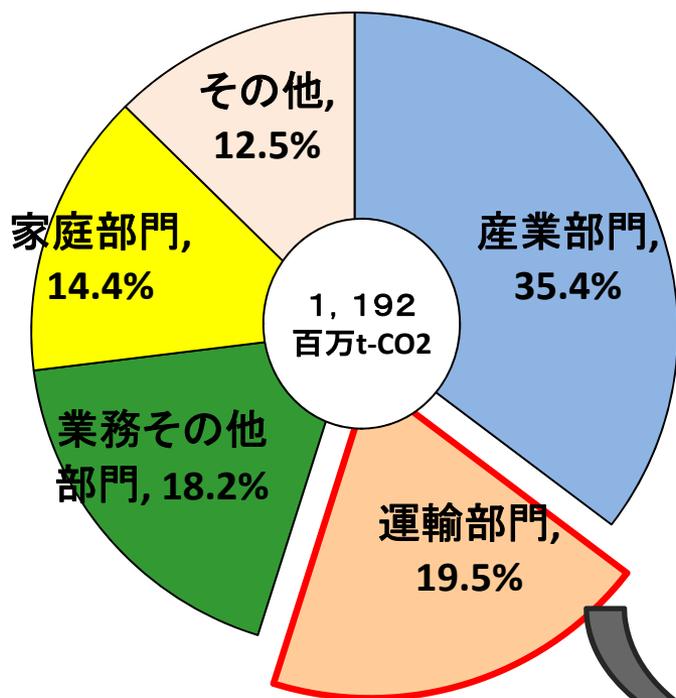
1990年比で約16%減

※旅客、貨物とも自家用を含む。

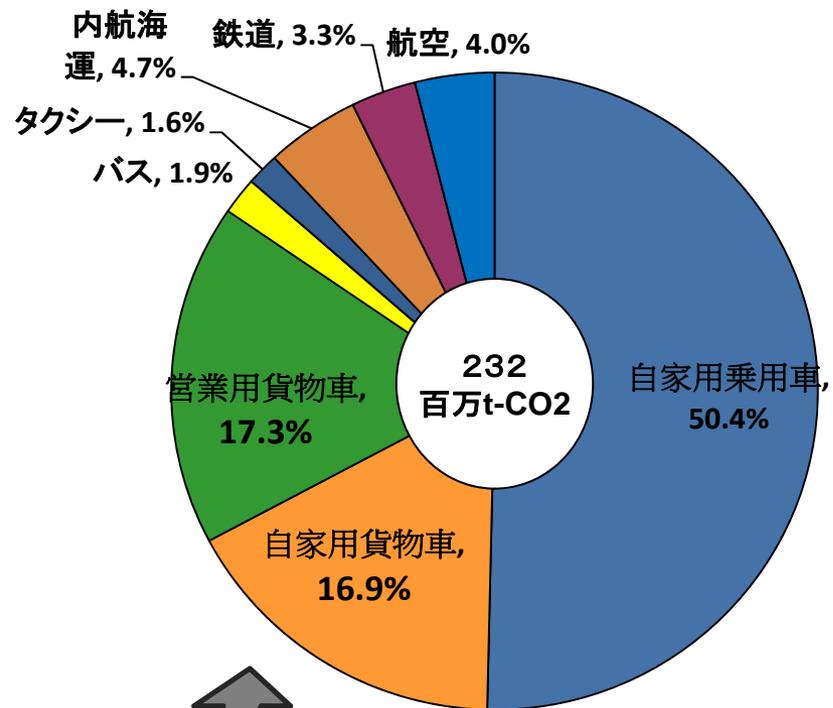
トラック輸送の低炭素化

我が国の二酸化炭素排出量の約2割を運輸部門が占め、運輸部門の二酸化炭素排出量うち約9割が自動車から排出。

部門別の二酸化炭素排出量(平成22年度)



運輸機関別の二酸化炭素排出量(平成22年度)



(日本国温室効果ガスイベントリ報告書)

東日本大震災におけるトラックによる政府の緊急物資輸送について

○トラックによる緊急輸送について、政府の緊急災害対策本部の要請を受けた緊急物資について、全日本トラック協会に対し協力を求めてきたところ。これを受け、トラック事業者において、パン、おにぎり等の食糧、毛布、カイロ等の救援物資の被災地に向けた輸送を実施。

○累計は下記のとおり。(※政府による緊急物資輸送はH23.5.27以降実施されていない)

○この他、地方自治体等から各都道府県のトラック協会への要請を受けて、8,702台(手配数)が緊急物資輸送に貢献。

○また、物資の集積拠点から避難所への輸送(末端輸送)の効率化を図るため、物流企業から物流専門家を各県に派遣。(岩手7名、宮城2名、福島2名)

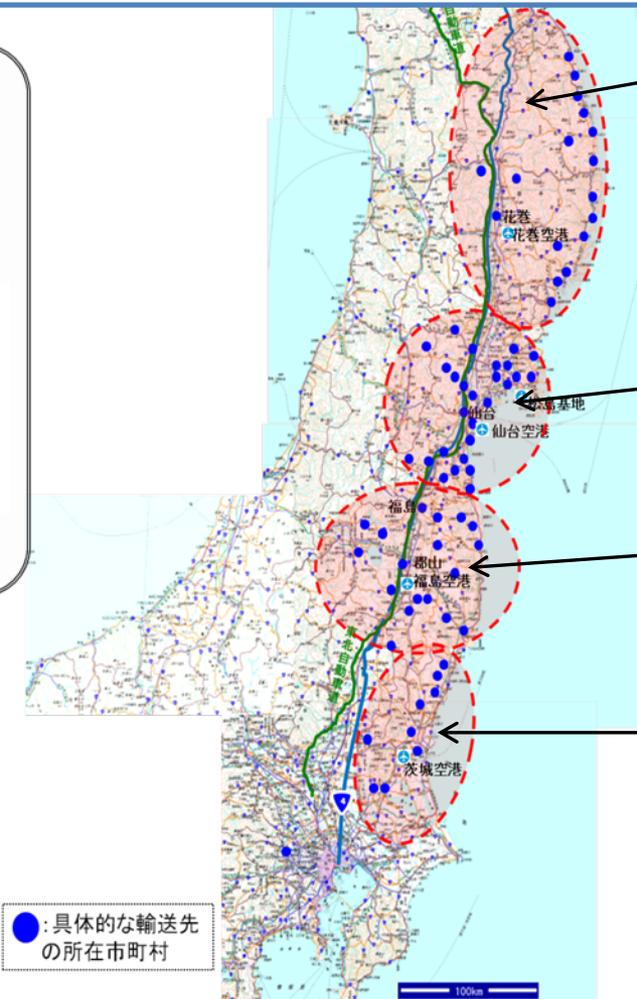
○これらの貢献に対し、平成24年7月27日に業界を代表して全日本トラック協会及び日本通運(株)に対して国土交通大臣感謝状を授与。

被災地への緊急物資輸送(合計)

食糧品	18,977,151食
飲料水	4,601,965本
毛布等	458,159枚

その他、発電機(560台)、反射式ストーブ(2,510台)、ポケット線量計(837個)、トイレ(5,297台)、おむつ(253,669個)、コート(61,600着)、ラジオ(3,000個)、テント(900帳)等

延べ輸送先数	2,032地点
--------	---------



●:具体的な輸送先の所在市町村
国土地理院による

岩手県

食糧品	3,735,956食
飲料水	800,852本
毛布等	126,100枚
延べ輸送先数	538地点

宮城県

食糧品	8,582,431食
飲料水	974,847本
毛布等	136,808枚
延べ輸送先数	793地点

福島県

食糧品	6,487,056食
飲料水	2,416,740本
毛布等	184,451枚
延べ輸送先数	646地点

茨城県

食糧品	150,508食
飲料水	115,206本
毛布等	10,800枚
延べ輸送先数	40地点

その他の被災地

食糧品	21,200食
飲料水	294,320本
延べ輸送先数	15地点